

〈人口〉  
男 9,000人  
女 9,314人  
計 18,314人  
世帯数 4,024戸

**広報**

麻生町役場蔵刷  
麻生町1561-9  
電話②0811(代)

麻小沼生印

所人 麻生町役場蔵刷  
行刷 麻生町役場蔵刷  
発印 麻生町役場蔵刷

6月のメモ

- 5日 国保運営協議会
- 5日 天王崎水泳場水質検査
- 6日 家畜衛生指導協会設立総会
- 8日 靖国神社参拝
- 9日 12日 農業委員会研修
- 14日 15日 納税組合長研修
- 18日 議会
- 大和第二小学校特別教室新築工事入札
- 19日 老人学級開校打合せ
- 20日 交通事故相談
- 農業委員会
- 25日 労働調査
- 25日 27日 教育委員学校訪問
- 26日 28日 青年学級宿泊研修
- 26日 29日 区長研修
- 28日 敬老会
- 29日 30日 町県民税、国保税年金保険料徴収

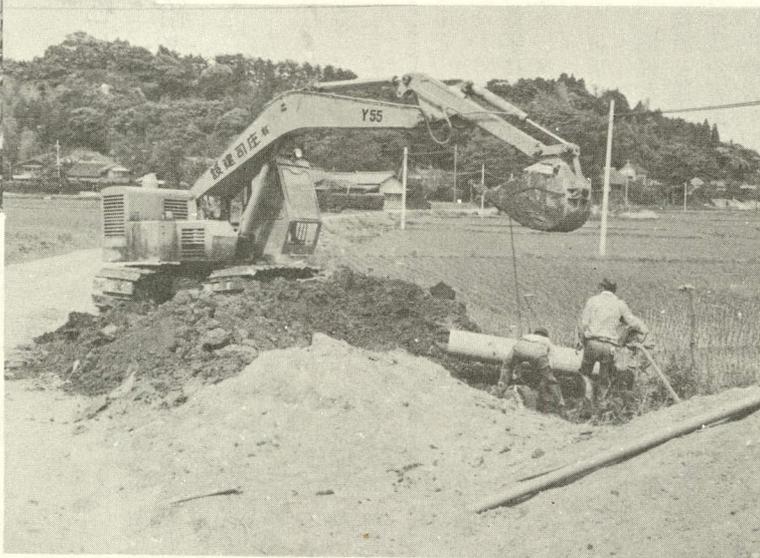
# 町道の改良進む

蔵川から白浜までの町道大和一号線三千百の調査測量が始まりました。現在の幅員平均四を二年計画で七にしよというもので、今年は七百万円の予算で、調査測量と用地買収を計画しています。この一号線が完成すると、四鹿から白浜まで（小牧から蔵川までは県道）の町道改良が完成し、地域の発展に役立つことでしょう。

◀ 白浜入口付近の方線を測量 建設課職員 ▶



▼ 〈板の峰付近の水路改良工事〉



## 保健と衛生

### 3歳児検診

昭和45年4月2日から昭和46年4月1日の間に生れた3歳児検診を次のとおり行ないます。

- 6月25日 行方幼稚園
- 6月26日 太田公民館
- 6月27日 小高幼稚園
- 6月28日 大和公民館
- 6月29日 麻生公民館

### 胃がん集団検診

検診料は1人800円ですが町で400円を負担します。

- 行方幼稚園 7月3、4日
- 小高田中跡 7月5日
- 太田公民館 7月6日
- 大和公民館 7月7、10日
- 麻生公民館 7月11、12日

検診の時間はいずれも、午前6時30分から8時の間です

### 身障者補装具巡回相談

- 6月21日 新調と修理
  - 7月19日 仮合と修理
- 時間は午前10時から午後2時まで、会場は麻生町役場、受け付けは午前中のみです。

### 身障者の総合検診

眼や手足の不自由なかた、耳が聞こえないでお困りのかたに、専門の医師が診察と相談を無料で行ないます。そのほか更生援護などの相談も受けします。

- 6月27日 麻生町役場
- 午前10時から午後2時まで受け付けは午前中のみです。

町道の改良が進められ、幅員が7mから4mに縮小され、舗装が完了する予定です。昭和47年度は、4m幅の改良が完了し、舗装が完了する予定です。

## 農用地

### 区域の従覧

6月10日～7月10日

農業振興地域整備に関する法律に基づいて、麻生町は昨年十月に茨城県告示第一〇〇九号により農業振興地域の指定を受けました。町では、農業振興整備計画を樹立するため、農業振興地域促進協議会、部落座談会、

関係団体等との協議を重ねてまいりましたが、農業振興整備計画のうち、農用地利用計画の案について、農業振興地域の整備に関する法律第一一条第一項の規定により公告をするともに、次のとおり従覧に供することになりました。農用地区域内にある土地の所有者、その土地に関する権利を有する方は、この期間に従覧することが出来ます。また、その農用地の利用計画案について異議があるときは、昭和四十八年七月十日（従覧期間満了の日）から十五日以内（七月二十五日）に申し出て下さい。

▽農用地利用計画案の従覧期間  
昭和48年6月10日  
から昭和48年7月10日  
▽従覧の場所  
麻生町役場経済課

## 成人式

7月14、15日

### 国立中央青年の家

町の成人式は、昭和四十五年から中止されていましたが、昨年七月に開催された麻生町

成人式に関する協議会の審議により成人式を復活することになりました。「私たちの成人式は私たちの手で」ということから、新成人者と先輩代表、町と成人式実行委員会を構成、この中で実施時期と内容を検討してきました。実施時期については、派手な服装にならないようにとの考慮から、七月十四、十五日、場所は、青年の研修所である静岡県御殿場市国立中央青年の家で実施することにしました。

これらに基づいて、一月に参加者の予備調査をしたところ、参加希望者は百五十名（町の新成人者は約三百二十名）あり、六月十五日までに本調査をして参加者の決定をすることになっています。

この成人式の主な内容は、七月十四日に記念講話と成人者の交歓、十五日に、河口湖富士山方面で野外研修をやる予定です。新成人者の自身による企画で、意義ある成人式になるよう期待したいと思っております。

## 日赤募金の協力を

お忙しいなかを、婦人会の方々が、日赤募金運動をしておりますのでご協力をお願いいたします。

みなさんから寄せられた善意によって、日本赤十字社人道、博愛、奉仕の精神に立脚して、災害の救護や人類の福祉、世界平和のため尊い活動をしています。

また、日赤茨城県支部においては「各戸に一人は赤十字社員に」との目標で、本運動を広く県内に展開しています。つきましては、年三百円以上を社費としてお納めくださる社員となつてご協力くださるようお願いいたします。

〔善〕  
〔意〕

